



入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:晝間和弘

第 2 号 3082 回例会 2019 年 7 月 11 日 (木)

< 会長の時間 > 滝沢文夫会長

ロータリーに関連する数字の話 Part2 今日は、3 から 6 の数字について話したいと思います。ただし、今回はテーマがあります。今回は出席に関する数字の話になります。



まずは 3 です。3 というより 30 なのですが、「会員は年度の各半期間に、クラブの例会総数の 30 パーセントに出席しなければならない」というものです。

続いては 4 です。4 は「例会に連続 4 回出席せず、またはメイクアップもしないのはだめですよ」というものです。

次に 5 です。3 の時と同じように 5 というより 50 なのですが、「会員は、年度の各半期間にメイクアップを含めてクラブ例会の出席率が少なくとも 50 パーセントに達しなければならない」です。

3、4、5 に関しましてはクラブ定款に明記されています。年度計画書をお持ちの方はご覧ください。第 15 条の第 4 節に在ります。(年度計画書の 58 ページをご覧ください)

最後に 6 です。6 というより 60 なのですが、これに関しては昨年度の 6 月の例会で、当時の SAA の木下会員より説明がありましたので、記憶に新しいところですが、「会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、その例会時間の少なくとも 60 パーセントに出席しなければならない」というも

のです。これもクラブ定款に明記されています。第 12 条、第 1 節に在りますので、確認してください。

今回の会長の時間も出席に関する数字を題材にしてみました。出席はロータリーの 3 大義務と言われていますが、義務ならば 100 パーセントの出席を望むべきと思います。しかし、そこまで定款によるとそこまでを求めてはいないようです。出席はロータリアンに求められる義務ではなく、例会に出席できる権利だと言い換えることもできるでしょう。次回も何か数字の話といたるところですが、またかと言われたいために次回は別のテーマを探してきます。

< 幹事報告 >

晝間和弘幹事

< 報告・予定事項等 >

- ・ 7/25(木)新旧役員慰労・激励会 夜間例会「魚いち」
18 時 30 分点鐘
- ・ 8/8(木)ガバナー公式訪問 武蔵クラブ
- ・ 両日の出欠記入されていない方は回覧致しますので出席で宜しくお願い致します。
- ・ 米山記念奨学会より 2019~2020 年度上期 普通寄付金 (1 人 ¥2,000) のお願いが地区よりありました。
- ・ 定例理事会議事録は次回より各会員にはファックスに致します。ご了承願います。



●五大奉仕委員長年度計画発表●

＜クラブ奉仕委員会＞ 吉沢誠十委員長

活動方針として今年度会長のテーマである「世代をつなぐ」を基にクラブ全体のサポートを行なうと共に、会員がクラブを理解しクラブライフを楽しめる様に努力します。



小委員会の方には各委員会の活動の目的を再確認し会長の方針を踏まえ計画を実行して頂く。昨年までの実績を考慮した事業展開をお願いする。定例的な例会、新規に行なわれる例会とも委員会内で十分な検討を行ない、また委員会間での打合せを密にすることで例会をより良いものにして行く。それが会員増強に繋がる事になると思う。事業予定を早く決定し日程等周知を行なうことで参加者の確保をする。公共イメージと認知度の向上の為 SNS 等、積極的に活用して行く。

最後に当クラブは本年創立 60 周年を迎える。実行委員会に協力し記念事業を成功に導く。以上会員間の結束を深めより良いクラブを目指します。

＜職業奉仕委員会＞ 田中快枝委員長

職業奉仕委員会の活動方針は第 2570 地区の考えを基に進めてまいります。



活動計画は、

1. 前期より会員卓話「我らの生業」を継続
2. 企業訪問の実施、「我が社に来てほしい」又は「あの会社に行ってみよう」など希望があれば申し出て下さい。
3. 第 2570 地区から、「四つのテスト」について「ロータリアンだけでなく職場や家庭でも活用して下さい。」により隔月にロータリーソングの唱和を行います。入会時に頂いた「四つのテスト」を会社等に掲示して下さい。

＜社会奉仕委員会＞

木下登委員長

滝沢会長の今年度テーマ「世代をつなぐ」を基本に地域との繋がりと、地域社会の皆様と共に奉仕活動を行います。また、公共イメージを向上させるために、地域の団体と協力し広く事業展開を進めます。



【活動計画】

1. 地区の社会奉仕活動に参加する。
2570 地区社会奉仕委員会で入間 RC 水村会員が委員長で、私が副委員長です。すでに積極的に活動を進めております。7/15 には、東松山文化センターで社会奉仕セミナーが開催されます。滝沢会長に出席してもらいます。この事については、改めて報告します。
2. 地域交流会に積極的に参加する。
入間市には、地域研修交流会という大きな活動組織があります。入間市の 20 団体が「入間の子供たちのために」各団体が協力して活動しています。すでに 6/7 には今年度の地域交流研修会が行われ参加してきました。
3. 万燈まつりに例年通り参加協力します。
4. 加治丘陵の保全活動、ロータリーの森清掃に今年も例年通り参加協力します。
5. 地区補助金を活用して地域の為に役立つ。今年も電子黒板プロジェクターを入間市の小・中学校に寄贈します。毎年寄贈していますが、今年で 3 回目です。
又、滝沢年度で掲げている子ども食堂の支援について、親が遅くまで働いたり、両親が離婚したり、様々な事情で寂しい思いを我慢して放課後を過ごす場を探す子供が多くなっています。地域で安心して過ごせる居場所を提供する取り組みで、まだ滝沢会長から具体的な話は無いですが、この事についても積極的に取り組んで行きたいと思っております。
入間ロータリークラブ創立 60 周年記念事業も同様に取り組んでいきたいと思っております。

＜国際奉仕委員会＞ 豊田義継委員長

国際奉仕委員会が他の職業や社会奉仕等の他部門と比べ、あまり身近に感じられないのは国際奉仕プロジェクトのような2つ以上の国のロータリークラブを含めて、結束して地域社会の1つに奉仕するような、プロジェクトがあまり実感されないからだと思っています。



入間ロータリークラブの国際奉仕の方針は自分たちのクラブの力(組織力)、人材、能力等、我々のクラブの身の丈に合った奉仕をしていきたいと考えております。

活動計画は今年度も米山奨学生が来ましたので、学生へのバックアップを第1とします。

第2は国際奉仕の歴史等を委員会として勉強し、入間クラブに合った活動を模索したいと考えています。

第3は地区国際奉仕委員会に参加し、地区委員長の梅澤茂氏の考え方がクラブに反映できるよう努力していきたいと考えております。

＜青少年奉仕委員会＞ 一柳達朗委員長

今年度青少年奉仕委員会委員長に任命されました一柳です。メンバーは後藤賢治さんです。



「活動方針」

次世代を担う若者達の為に、その多様なニーズを模索し、理解し、応援します。

「活動計画」

- 1、インターアクト年次大会や青少年指導者養成プログラム等に参加します。(ライラ)
 - 2、青少年健全育成の為に支援活動を行う。
- 以上を掲げました。

掲げておいて8/1の年次大会に参加出来ないのは残念ですが、これから少しずつ勉強して理解を深めて行こうと思います。

1年間どうぞ宜しくお願い致します。

●委員長報告

＜米山記念奨学委員会＞ 白幡英悟委員長

7/7に紫雲閣で開催された米山記念奨学委員会セミナーに会長と一緒に参加しました。出席した奨学生13人の1人1人からスピーチがありましたが、総じて彼らにとっては外国である日本でお金の心配をしなくて良いこと、バイトをせずに学業に専念できることで来日の目的である夢の実現に近づけていることの喜びが伝わってきました。

奨学事業は寄付金のみから成り立っているため、普通寄付のほか、10月の米山月間には皆さんには特別寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

李君のスピーチでは皆に早く覚えてもらいたいことや8月には福岡の学会で論文発表がよいので、また李君からもお話があると思います。」

＜青少年奉仕委員会＞ 一柳達朗委員長

8月1日(木)に第53回インターアクトクラブ年次大会が大妻嵐山高等学校で開催されます。青少年奉仕委員長として年次大会に出席すべきだと思いますが、当日は当クラブの第一例会、そして理事会が開催され、ガバナー補佐訪問の日でもありますので大会は欠席致します。

＜出席報告＞

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
42名	28名	70.00%	76.19%

事前欠席連絡 5名



●大塚拓会員 近況報告

入間ロータリークラブの会員であります大塚拓です。先ほどの「会長の時間」で出席率が悪いと首だとお話されていて首筋が寒い思っています。



ロータリーの4つのテストの精神を持って、「真実かどうか・みんなに公平か・行為と友情を深めているか・みんなの為になるかどうか」を国際社会の指導者に叩き込んでいければと考えます。皆様とともに、これからも頑張っていきたいと思っております。

<ニコニコBOX> 馬路宏樹 S A A

★本日はクラブ協議会五大奉仕委員長の発表です。十分な時間がありますので、宜しくお願いします。

「滝沢文夫君」

★早退いたします。

「友野政彦君、金井祐一君、馬路宏樹君、一柳達朗君」

本日¥5,000 累計¥81,539

■回覧、配布物

- ① 8/8 ガバナー公式訪問例会出欠表
- ② 7/25 新旧役員慰労激励会出欠表
- ③ 7/25 狭山ゴルフクラブ出欠表
- ④ 第1回定例理事会議事録
- ⑤ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑥ 入間クラブ週報 1号



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 真実かどうか | 2 みんなに公平か |
| 3 好意と友情を深めるか | 4 みんなのためになるかどうか |

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー（ハーブ）は、大恐慌下の沈滞ムードを払拭（ふっしょく）するための手段として、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供すべく、神の啓示を求めて祈りをささげました。社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこでさらに推敲（すいこう）を重ね、それを7つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。（ロータリーの友資料館より）

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宮崎正文

